

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育	主要施策	確かな学力の向上	評価部局	教育委員会 学校教育部	関連部局	教育委員会管理部
施策コード	2213	施策名	伊丹ならではの特色ある教育の推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	施策の方向性	指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	成果指標					
						H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31	H32 (最終)
目的	「『読む・書く・話す・聞く』ことば文化都市」として、伊丹ならではの教育の推進・充実を図る。	重点化	① 小学校の児童一人あたりの1か月読書冊数(冊)	↑	小学校の児童が一人あたり1ヶ月に読書した冊数(全国学校図書館協議会の調査において、過去5年間の平均が10.62冊であるため、伊丹市は12冊を目標値に設定した)	目標	12	12	12	12	12
						実績	12.78				
						② 中学校の生徒一人あたりの1か月読書冊数(冊)	↑	中学校の生徒が一人あたり1ヶ月に読書した冊数(全国学校図書館協議会の調査において、過去5年間の平均が3.9冊であるため、伊丹市は4.0冊を目標値に設定した)	目標	4	4
						実績	3.65				
						目標					
						実績					

手 段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況				重点新規			
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等		H27	H28	
	221303	学校図書館活性化事業<名称変更前:「読書教育推進事業」>	・学校図書館の活性化を図る ・児童生徒の「読む力・書く力」等国語力及び言語力の育成を図る ・児童生徒の読書冊数、貸出冊数を増やす	・学校司書の配置と活用 小学校:1日5時間200日 中学校:1日5時間100日 ・学校図書館の整備及び読み聞かせ等の読書教育の推進 ・貸出・返却及びレファレンス機能の充実 ・学校図書等を活用した授業による教科指導の充実	・1人あたりの1か月読書冊数 小学校:12冊 中学校:4冊	10	30,161	30,161	小・中学校の児童生徒一人あたりが5月に読書した冊数対全国学校図書館協議会の全国調査結果(冊)	=	[(全小学生の1ヶ月読書数)+(全中学生の1ヶ月読書数)]÷(全小中学生児童生徒数)	計画	9.7	8	創生
	221305	伊丹の教育アピール推進事業	伊丹の学校における教育活動や教育施策を、多様なメディアを効果的に活用して広く市内外に広報する	伊丹の教育を新たな都市ブランドとして広くPRする	・教育を新たな都市ブランドと位置づけ、選ばれるまちづくり「伊丹創生」に資するため、多様なメディアを効果的に活用して、伊丹の教育を市民にアピールする。	10	358	1,000	子どもたちの学力の向上施策に満足している人の割合(%)	↑	「市民意識調査」で「子どもたちの学力の向上」に満足・やや満足と答えた人の割合	計画	24.9	25.5	創生 重点
	221306	学校図書館データベース化事業	適正な蔵書管理やレファレンス業務の効率化を図り、児童生徒の読書活動の充実及び図書館教育環境の充実を図る。	学校図書館のさらなる活性化に向け図書をデータベース化する	次年度以降実施予定	-	-	-				計画	-	-	

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	30,519	31,161